



南側外溝アプローチ

名古屋東京海上日動ビルディング

耐震性能と震災時持続性とダブルスキン、全館にLED照明を採用し環境に配慮したオフィスビル

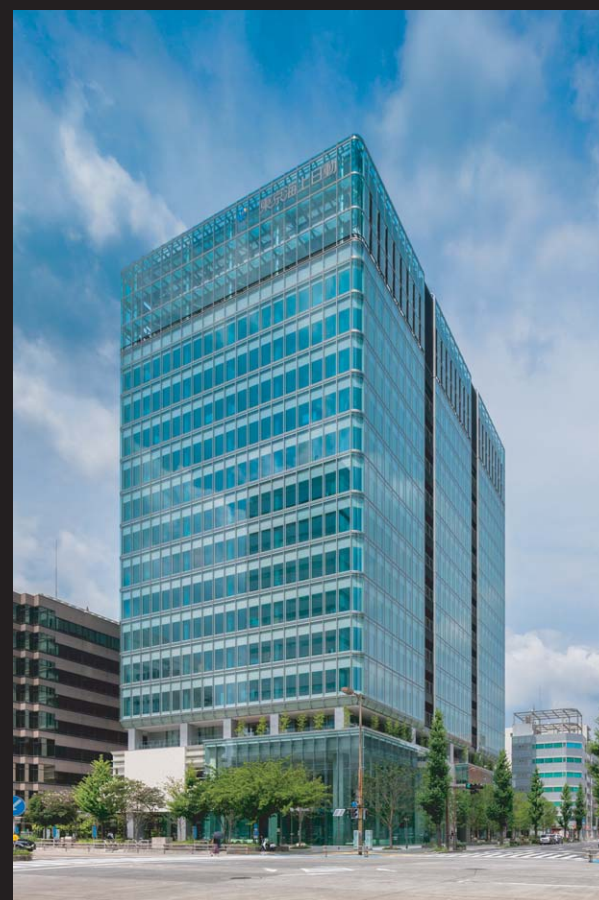
高層部カーテンウォールと対比させ、低層部外壁には部分的にタイルとテラコッタルーバーを採用。多目的ホール、ギャラリーを配置した低層階の屋内外には地場素材がふんだんに使用され、タイルはそれら素材との景観調和を配慮しています。全体に色味を抑えたフラットな面状と緩やかな4本のリップ面を施したタイルは、ランダムに配置され奥行きのある壁面を創出しています。外壁表面は時間帯により自然光の差し込み方が異なり、深目地も相まって豊かな素材の陰影が出ています。また開口部には同色系テラコッタルーバーを水平に配置し、デザイン性を高めています。

DATA

設計：株式会社三菱地所設計
 施工：名古屋東京海上日動ビルディング建替工事共同企業体
 所在地：愛知県名古屋市中区丸の内2-20-19
 竣工：2013年7月

商品情報

外装壁タイル 施釉 湿式成形 II類
 :FC-11/290×40/OM3707-19-A+MG(テ-パ-付)T=17
 FC-11/290×40/OM3707-19-A2+MG(三角リブ)T=17
 テラコッタルーバー 2面施釉 湿式成形 II類
 :TL-150×60×1183.5/E12061-11-1(C-002断面)



全景

内観



エントランスロビー



エントランスロビー

外観



外装壁タイル全景

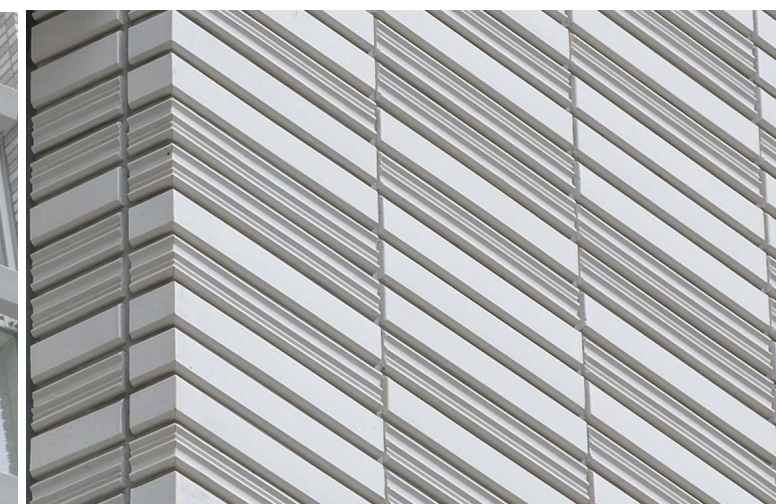


外装壁見上げ

ディテール



テラコッタルーバーディテール



外装壁タイルディテール